



曹洞宗 神興山 普広寺

楨 東 佑

MAKI TOYU

1983年 小千谷市出身
2010年 柏崎市へ

市内北条にある、1504年開山の曹洞宗 神興山 普広寺は、曹洞宗の中でも寺格のある格地の寺として知られ、市指定文化財の石幢六地藏や般若心経残欠、妙法蓮華経如来寿量品などの寺宝が伝えられている。

その普広寺を引き継ぎ、住職を務める楨東佑さんは、寺での座禅会や不定期開催のラップイベント「TERAdeRAP」を企画するなど、宗派の違いに関係なく若い人たちにも寺へ気軽に足を運んでもらいたいといろいろなアイデアで人々を楽しませている。

楨さんは小千谷市出身。曹洞宗の寺に生まれ4人兄弟の三男として育った。子供の頃から行儀作法を教えられ、法事や盆の檀家まわりなど寺の仕事を当たり前を手伝ってきた。だが、師匠が仏教の難解な言葉を説明したり信徒や一般の人たちにわかりやすく説教する姿を見るたび、自分には難しいと感じていたという。そんな気持ちに変化が訪れたのは大学時代。アメリカンフットボールに打ち込みつつ、仏教学部で学び将来の身の振り方を考えるようになる。

卒業後は介護職などにも携わり、様々

な経験から、自分なりの言葉で仏教をわかりやすく伝えていけばいいんだと思うようになり、楨さんは改めて僧侶の道を志し曹洞宗の大本山永平寺の門を叩いた。それから2年半の厳しい修行を終え、縁あって当時は無住寺だった普広寺を引き継ぐため、仮住まいをするようになった。

知り合いもなく初めての土地で慣れないことも多かったが、地域や檀家の人たちとの関係を少しずつ築き、多くの協力を得ながら住職となるための研修や手続きを整え、普広寺の住職として任命を受けたのは3年後、さらにその2年後の2015年にお披露目となる普山式ほんさんしきを執り行い、ようやく名実共に普広寺の住職として認められたのである。

楨さんがいつも考えているのは、普広寺で何ができるのかということ。最初に取り組んだのはホームページの作成。普広寺のことを知ってもらいたいと、まずは歴史や成り立ち、普広寺への思いや理念を綴り、普広寺がどんな寺なのか、どんなことをやっているかというのを広く見てもらえるようにした。そして次に行ったのは檀家の人たちだけでなく誰もが参加できるイベントの開催だった。

今後は、月1回の定例座禅会を4月から開催予定。また、老若男女問わず癒しと心身の調いを提供したいとの思いから、テントサウナを使用した「TERAde SAUNA」の計画を進めるなど、楨さんは多くのアイデアと行動力で、寺という場所の懐の広さと可能性を私たちに教えてくれている。



お問い合わせ

曹洞宗 神興山 普広寺

柏崎市北条782

TEL 0257-25-3416

<http://www.kitajyo-fukouji.jp/>

*座禅会への参加申し込みはTELまたはメールにて受付中

